

『思い出』 作：ポチ子

『思い出』 作..ポチ子

もうこんな人生辞めたって、

そう思っても、

そんな時ばかり、

良い思い出が頭の中に浮かんで。

遊園地に行った時のこと、

誕生日を祝ってもらったこと、

手を繋いで花火を見たこと、

帰り道におんぶされたこと。

ああ、さっきまで忘れてたのに。

『思い出』 作：ポチ子

どうして、

どうして、

こういう時だけ。

嫌な記憶に支配されたままだったら、

後悔なんかしないのに。

幸せな思い出なんかなければ、

泣くことなんかなかったのに。

どうして、

どうして、

今になって。